

国内外来種



スゴモロコ

コイ科

全長：9～12 cm

琵琶湖の固有亜種で、千葉県には本来生息していない。琵琶湖産のアユが利根川などに放流されたときに、スゴモロコも混ざっていたためそこに定着。その後水域を通じて千駄堀池にも入ってきたものと思われる。本来の生息地である琵琶湖では個体数が減少し、環境省のレッドデータブックでは『絶滅危惧Ⅱ類』に指定されている。雑食性で、水生昆虫や小型の巻貝などをよく食べる。



千駄堀池での警戒レベル

国内外来種



ツチフキ

コイ科

全長：4～10 cm

愛知県、岐阜県以西に生息し、千葉県には本来生息していない。環境省のレッドデータブックでは『絶滅危惧 I B 類』に指定されており、本来の生息地では絶滅の危険性が高まっている。オスが泥底にすり鉢状の巣を作る際、口に泥をふくみエラから噴き出す様子から名付けられたとされている。



千駄堀池での警戒レベル